

Weekly コラム

平成 27 年 2 月 24 日

〒541-0055 大阪府中央区船場中央 2-1

船場センタービル 4 号館 4 階

船場経済倶楽部

Tel 06-6261-8000

(NPO 法人 SKC 企業振興連盟協議会) Fax 06-6261-6539

人の輪・衆智・繁栄

活動方針



当団体は、異なる業種の経営者が相集い、力を合わせ、自らの研鑽と親睦を通じて、斬新な経営感覚と新たな販売促進を創造して、メンバー同士でより健全な事業所とその事業所のイメージアップを図り、地域社会に貢献できる事業所となることを目的とする。

～あの時、この人～ベーブ・ルース

2月6日は野球の神様と言われた米国の国民的なヒーロー「ベーブ・ルース」の誕生日です。生涯通算本塁打数714本は1974年ハンク・アーロンに破られるまで39年間MLB記録でした。また1921年当時は今とホームランに関するルールが異なっていたため、もし現行のルール下なら、59本から104本に年間本塁打記録が変わるだろうという研究があります。1931年までアメリカンリーグではファウルポールに直撃した打球はエンタイトルル・ツーベース扱い、フェアゾーンでフェンスを越えてファウルポールを巻いてファウルゾーンに落ちた打球は現在と違い当時はファウルでした。これらを全て集計すると104本に値するそうです。ルースがこの年記録した総塁打数、長打数、出塁数は未だにMLB記録です。

ジョニー・シルベスターという病弱な少年の両親が、ルースに見舞ってもらおうと無理を承知で球団事務所に電話をして頼んでみると、本当にルースが来てジョニーを驚かせたことがありました。しかも翌日の試合でホームランを打つ約束をして、結果、三打席凡退の後ホームランを放っています。またある時、路上に停まっていた1台のオープンカーの座席に元気のない少年が座っているのを見て、「坊や、こんにちは」と声をかけると、少年は日を輝かせてルースの名を叫びながら立ち上がりました。すると、周りの人々が驚いたように歓声をあげ、傍にいた親らしき人物は涙を流しながら、「立った！」と叫んでいます。その少年は小児麻痺のために足の機能が失われ、2年間も立つことができない状態にあり

ましたが、憧れのルースから声をかけられたので、嬉しさのあまり夢中になって立ち上がったのだといひます。この奇跡は当時の新聞でも紹介され、「子供たちにとって、ベーブ・ルースという名前はどんな薬よりも良く効く薬のようである」と評されました。

このようにルースが子供たちに優しくしたのは、貧しい下町の不良少年だった彼自身の生い立ちとも深い関係があったとされています。実際、ルース見たさにヤンキー・スタジアムへ来たものの、お金がなくて入場券を買うことができず外に立ち尽くしている貧しい子供たちの姿を見て気の毒に思い、係員に札束を渡して、「これであの子の入場券を買ってくれ」と頼んだこともありました。また、彼が友人とゴルフ場に行った時には、入口付近でルースを見つめる2、3人の子供の姿を見て、「君らも来いよ。今日はいいプレーができそうだよ」と誘い、子供たちと談笑しながらラウンドを回り、休憩時にはお菓子とジュースを振る舞ったといひます。

本当の大スターとは記録以上に記憶に残る人間力溢れる人なのですね・・・



記事の内容に関するお問い合わせは事務局までご連絡ください。

ウィークリーはメールでの配信も行っております。お手数ですが、「メール希望」・「配信停止希望」と件名にご入力の上、yasukouchi@skc.ne.jp まで空メールをご送信ください。また、FAX ご不要の際は、その旨をお電話にてお申しつけください。